

事業所名

みなとのこどもデイ（児童発達支援）

支援プログラム（参考様式）

作成日

2025 年

3 月

1 日

法人（事業所）理念

ゆっくり、いっしょに、育っていこう

支援方針

こどもたちが持っている力で「できた・楽しかった」を実感できるよう、一人ひとりに合わせた支援を組み入れ、理解して過ごせる・自発的に行動できる環境を設定します。
保護者様と一緒にこどもたちの見える言動だけでなく背景にある理由を考え、こどもの理解を深めることを大切にします。
事業所内に留まらず、こどもたちが過ごす日々の生活につながる支援をこころがけます。

営業時間

8 時

30 分

17 時

30 分まで

送迎実施の有無

あり

なし

支 援 内 容

本人支援

健康・生活

安心して通えるよう、分かる活動・楽しめる活動・できる活動をスモールステップで設定します。
簡単な身支度や自身の持ち物の管理ができるよう、必要な環境設定を行い自身で遂行する機会を設けます。
コミュニケーション発達や社会性の発達と基盤となる、知っている物事を増やすため生活での経験を大切にします。

運動・感覚

感覚のアセスメントを行い、感覚特性に合わせた遊びや環境を設定します。
感覚・運動遊びを通して、ボディイメージを育み身体の基礎づくりをします。バランスをとる・自分の身体を支える（姿勢保持）、自分の身体を空間や道具に合わせて使っていく（運動企画）経験を積み重ねていきます。

認知・行動

発達段階・発達特性に合わせた活動を設定します。同じ活動であっても、個々の認知特性・感覚特性に合わせた関わりを行います。
こども自身が理解しやすい・認識しやすい感覚情報を用いて、情報の構造化・空間の構造化を基盤に感覚情報を調整して「やってみようかな」と自発的に行動できるきっかけを作ります。

言語
コミュニケーション

こどもたちの興味・関心に合わせて、興味を向けた先に他者との関わりが持てる活動を通して、コミュニケーションの基盤作りをしていきます。
こどもの「伝えたい」気持ちを大切に、「伝わった」経験を積み重ねて他者とコミュニケーションをとる楽しさ・便利さ・有用さを実感してもらいます。
理解言語・表出言語・コミュニケーション言語のアセスメントを実施し、言語だけでなく非言語的コミュニケーションも含めコミュニケーション意欲を育みます。

人間関係
社会性

集団生活に必要なコミュニケーション力や社会的なスキルを身につけられるよう、遊びのなかでルール・マナーを経験していきます。
おもちゃの貸し借りや交渉、役割分担など、スタッフを介してこども同士の関わりで成功体験が積み重ねられるよう支援します。
感情のコントロールにつながる、「気持ちを受け止めてもらえた・共感してもらえた経験」を大切にしていきます。

家族支援

ご本人について理解を深めご家族と同じ方向を向いた関わりが意識できるよう、定期的に保護者様と面談を行いご本人の様子や言動の背景等について一緒に考えていきます／保護者向け講座等で情報をお伝えします

移行支援

ライフステージの移行を見据えて、現在の所属集団との情報共有・意見交換、また移行利用先との情報共有に努めます

地域支援・地域連携

お子様についての理解を深められるよう、関係機関（所属集団や他事業所、医療機関等）との連携を図ります

職員の質の向上

・法定研修以外に、法人・事業所内の研修や外部研修への参加
・日々の療育活動の振り返りを通して自己研鑽に務めます

主な行事等

長期休暇でのお出掛け、季節ごとのイベント（夏祭り・ハロウィン・クリスマスイベント等）を実施します。
就学を控える年長時には、小学校へのイメージを具体的に持てるよう「小学校準備講座」を実施します。